

--	--	--	--	--

高等教育計画経営シリーズ3

2023年11月21日(火)

グローバル基準の専門職養成 —

健康食・農の新・高等教育を拓く

～ 学部・大学院プログラムのコンセプトと教学経営 ～

- ※ 健康・ウェルビーイングと地球の健康/応用科学としての農学/取りこぼし/転換への道
- ※ 食の機能と安全・危機管理/市民の誤解の現状と根源/農水産業を活性化する人財養成
- ※ 農業生産工程管理 (GAP) の国内外の動向/農業高校・農業大学の取組み/大学への期待
- ※ 健康な農産物・食品の生産・流通のための研修・資格/農学・食品・栄養系学部への提言

● 講師陣 ●

- 秋津 元輝 氏 / 京都大学大学院農学研究科 生物資源経済専攻教授
 長村 洋一 氏 / 藤田医科大学名誉教授 (一社) 日本食品安全協会代表理事
 牧野 竹男 氏 / 農林水産省農産局農業環境対策課 農業環境情報分析官
 北市 清幸 氏 / (一社) 日本食品安全協会理事長 同教育協議会会長
 岐阜薬科大学教授

□ 企画協力 (一社) 日本食品安全協会

2023年11月21日(火) 日本教育会館会議室/オンライン



一般社団法人

高等教育計画経営研究所

日時: 2023年11月21日(火) 13:00 ~ 17:00

会場: 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)
 千代田区一ツ橋2-6-2 TEL03-3230-2833
 東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」、
 A1出口より徒歩4分

Web: 「zoom」によるオンライン

※受講証の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

参加費: ご一名(資料代込) 38,000円(税込)

※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

※ KKKKのHPでもご案内しております。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAXまたはE-mailにてご送付ください。

支払方法: 銀行振込・当日払いがあります。

三菱UFJ銀行麹町支店 普通 0399197
 <口座名 (一社) 高等教育計画経営研究所>

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申込先: 高等教育計画経営研究所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-10
ライオンズマンション平河町106

Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993

E-mail: kkkk@kotokyoiku-kken.or.jp

HP: https:// www.kotokyoiku-kken.or.jp/

< ※参加申込みの折は、必ずお送りください >

研修会参加申込書

高等教育計画経営シリーズ3

2023年 月 日

健康食・農の新・高等教育を拓く

(□に✓印を) □ 会場参加 □ オンライン参加

支払方法 □ 銀行振込 □ 当日払い

必要書類 □ 請求書 □ 見積書 □ 領収書

勤務先 _____

所在地 (〒 _____)

(書類宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 }	<p>□ 人の健康・ウェルビーイングと地球の健康を地続きで考える ～農学系学部・大学院の教育研究の新展開～</p> <p style="text-align: right;">京都大学 秋津 元輝</p> <p>1. 応用科学としての農学の使命 (1) Planetary Boundaries (地球の環境限界) (2) 農学の現代的使命 (3) 近代農学への反省 (4) バックキャストで考える</p> <p>13:50 2. 取りこぼしてきた分野とは (1) 有機・アグロエコロジー (2) 技術受容への市民参加 (3) 食からの統合科学</p> <p>3. 転換への道 (1) 地球規模の切迫課題を共有する (2) 先導者としての農学系教育と研究 (3) 境界を越える：inter- and transdisciplinary</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:00 }	<p>□ 食の機能と安全・危機管理における専門人財養成 ～学部・大学院プログラム/関連専門職者の研修～</p> <p style="text-align: right;">日本食品安全協会 長村 洋一</p> <p>1. 食の機能の有効利用の必要性 (1) 増加一途の高齢者問題 (2) 改めて知って欲しい食生活の健康に及ぼす影響 (3) 健康食品と健康食</p> <p>14:50 2. 食の機能と安全・安心に対する一般市民の誤解の現状 (1) 食品添加物と残留農薬に対する誤解 (2) 遺伝子関連食品に対する誤解 (3) 放射線に対する誤解 (4) 誤解の根源にあるのは？</p> <p>3. 農学教育の飛躍に必要なこと (1) 健康に関する若干の基礎知識を養成する (2) 農水産物の健康に及ぼす影響を教育する (3) 日本の農水産業を活性化するための人材育成</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:00 }	<p>□ 農業生産工程管理 (GAP) の国際動向と今後の推進方向 ～我が国における情勢、諸外国の動向、大学への期待～</p> <p style="text-align: right;">農林水産省 牧野 竹男</p> <p>1. 我が国における GAP をめぐる情勢 (1) GAP とは何か (2) 我が国で普及している民間認証 GAP (3) GAP に取り組む意義 (4) GAP 推進のための施策</p> <p>15:50 2. 諸外国の動向 (1) GAP 発足の経緯 (2) 世界の主な民間認証 GAP (3) 東南アジア諸国における状況</p> <p>3. 農業教育機関における GAP の取組の現状と大学への期待 (1) 農業高校・農業大学校での取り組み状況 (2) 大学への期待</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:00 }	<p>□ 安心・安全な農産物・食品の生産・流通のための大学教育の展開 ～健康食品管理士/食の安全管理士の養成校認定要件の観点から～</p> <p style="text-align: right;">日本食品安全協会 北市 清幸</p> <p>1. 健康食品管理士/食の安全管理士の社会的役割とその必要性について (1) 食の安心・安全に関わる協会資格は高い社会的ニーズを有している (アドバイザー・スタッフとは?) (2) 協会資格は農学・食品・栄養系学部とも高い親和性を有している (3) 有資格者の就職状況や活躍事例～今後の活躍が期待される場面について</p> <p>17:00 2. 健康食品管理士/食の安全管理士資格取得に向けて (1) 協会資格獲得のため受験：学生にとって必要な学力とは (2) 受験に有利な養成校の認定要件と教学に必要な準備について (3) 協会による養成校における資格取得の支援体制について</p> <p>3. 農学・食品・栄養系学部への提言 (1) 協会組織の紹介、資格保有者の活動 (全国組織：管理士会) の紹介 (2) 協会は卒後継続教育によって管理士の資格取得後の学びをサポートする (3) 新しい農・食系学部経営に資する当資格の養成校になりませんか!</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>